



グリーン

Green Ishikawa No.169 7
2025.Jul



いしかわ

Green Ishikawa Contents

News & Topics

- 令和7年度JAグループ農機事業キックオフ大会
- 「ひやくまん穀」生産者大会
- 「JA共済マルシェ」開催
- 新しい能登大納言小豆スイーツ誕生！
JAのと×ファミリーマート×JA全農
- JA能美 令和7年産大麦・初検査
- 石川県産酒米
「百万石乃白」研究会×酒蔵の交流会
- 石川県産すいか（金沢すいか）初出荷！
- 大阪にて石川県産すいかトップセールス！
- 令和7年度ルビーロマン生産者大会
- 金沢こだま西瓜初出荷！
- ツエーゲン金沢ホーム戦にて、ひやくまん穀×加賀太きゅうりPR！
- Aガイヤでの販促イベントの実施
- 金沢駅で大盛況！すいか交流フェア開催
- ツエーゲン金沢を応援!!!
『金沢すいか』の試食会を実施
- JA全農 COUNTDOWN JAPAN
- 地元石川が育んだ色白美人「石川アールスメロン」
- 園芸種苗センターが挑むトマト栽培実証
- 多様な仲間と 築く安全 未来の職場
株式会社JA建設エナジー令和7年度安全大会
- 「JAふれあい産直市・キララはくい」として新装オープン
- Skill-up、Scale-up、Smail-upキックオフ大会

お知らせ ほか

- JAホーム新築住宅のご紹介
- 私のおすすめ！エコープマーク品
- 米心石川
- 石川県産の恵みを共に味わう



令和7年産ルビーロマン初競り

7月18日（金）、金沢中央卸売市場にて本年度産ルビーロマンの初競りが行われ、特秀Gクラス1,000gの房が100万円で競り落とされました。本年もルビーロマンをよろしく願っています！（※Gクラス…1粒概ね30g以上の大粒ぞろいの房）



全農石川県本部公式 Instagram

ja_zennoh_ishikawa

県産農畜産物やJA加工品、イベント情報などを掲載中！ぜひご覧ください！

URL: https://www.instagram.com/ja_zennoh_ishikawa/?hl=ja



農機
施設課

令和7年度 JAグループ農機事業キックオフ大会



県内JAグループの結束による農機事業の目標達成と組合員サービスのより一層の向上を目的として、6月13日(金)にホテル金沢において県内JA職員及び取引メーカー約70名参集のもと、「令和7年度JAグループ農機事業キックオフ大会」を開催しました。

中西県本部長の挨拶の後、情勢報告を全農本所池田農業機械課長、令和7年度重点事業方策を酒井農機施設課長より説明しました。

引き続き「令和6年度JA農機マッチレース」の表彰式を行い、整備部門・年間最優秀賞のJA石川かほく 関口俊明さん、セールス部門・台数の部第1位のJA志賀 河野辰夫さんを表彰し、副賞として能登牛を贈呈しました。

JA金沢市の北川雄基さんによる目標達成に向けた決意表明に続き、参加者全員によるがんばろう三唱を行い、中村副本部長による閉会の挨拶で大会を締めくくりました。

本会では、今後も農業機械の取扱の維持・拡大、アフターサービスの充実を図っていくとともに、JA農機事業の基盤強化、組合員サービスの向上に向けて取り組んでいきます。

米穀課
TAC営農
推進課

「ひやくまん穀」生産者大会 ～さらなる飛躍を目指して～

本格栽培9年目となる「ひやくまん穀」の生産者大会が7月2日(水)に県産業展示館2号館にて開催されました。能登半島地震と豪雨の影響で、開催は約2年半ぶりとなり、生産者・JAグループ・県関係者約250名が参加しました。

「ひやくまん穀」生産者部会の番場部会長が「さらなる生産拡大により県産米の生産量回復に繋がる。これまでの知識と経験を活かし、ひやくまん穀の収量をしっかり確保し、手取り確保につなげていきたい。」と開会あいさつ。その後、JA全農いしかわ中西県本部長が「今後も復旧復興に向け、JAグループとして手助けとなるよう精一杯支援をしていきたい。これからも品質の良いお米を安定してお届けするために、部会員の皆様と共に頑張っていきたい。」と呼びかけました。

大会では令和6年産の栽培概要や品質分析結果、7年産での栽培対策や生産・販売方針等について説明が行われ、「ひやくまん穀」コンテストの表彰式も開催されました。

7年産の県下の作付は2,540ha、出荷量は14,700トンを見込んでおり、今後も「ひやくまん穀」の高品質・安定生産と評価向上を目指して一丸となって取り組んでまいります。



▲「ひやくまん穀」生産者部会
番場部会長

「ひやくまん穀」に
ついては
こちらをチェック!!

ひやくまん穀HP▶



令和5年産
「ひやくまん穀」
コンテスト
成績概要

部門	受賞者	支部・JA	成績概要
収量部門	谷口克好 様	奥能登・JAのと	単収762kg/10a (県下平均583kg/10a)
品質部門	粟蔵水稻株式会社 様	奥能登・JAのと	整粒歩合70.1% (県下平均47.9%)
総合部門	谷内正伸 様	中能登・JA志賀	単収762kg/10a、整粒歩合53.2%、千粒重25.9g (県下平均24.9g)

令和6年産
「ひやくまん穀」
コンテスト
成績概要

部門	受賞者	支部・JA	成績概要
収量部門	安實吉久 様	白山石川・JA松任	単収730kg/10a (県下平均537kg/10a)
品質部門	脇 晴希 様	奥能登・JAのと	整粒歩合67.6% (県下平均49.3%)
総合部門	大家法師 様	南加賀・JA加賀	単収648kg/10a、整粒歩合66.9%、千粒重26.0g (県下平均25.6g)

能登半島地震と奥能登豪雨からの復興を応援 ～「JA共済マルシェ」開催～

6月19日(木)、東京都千代田区のJA共済ビル2階エントランスホールにおいて、能登半島地震と奥能登豪雨からの被災地復興を応援する「JA共済マルシェ」が開催されました。今回のマルシェには、能登産の新鮮なブロッコリーやアスパラガス、ホウレンソウなどを中心とした石川県産の野菜や加工品約80種類が並び、約240人の来場者が集まりました。



▲ 西沢会長がPR

このマルシェの開催に先立ち、西沢会長（JA共済連経営管理委員会副会長）は「復興は道半ばであり、ぜひ買って応援してほしい」と来場者に呼び掛けました。当日は、石川県内の新規就農者が販売に協力し、マルシェを盛り上げました。近隣住民や近隣オフィスの方々、ならびにJA共済ビル内の役職員など多くの方が、開催時間前から集まり、開始から約1時間で全商品が完売しました。参加者からは、「能登の新鮮な野菜を東京で購入できる機会は貴重」「少しでも復興支援に貢献できて嬉しい」「次のマルシェにもぜひ参加したい」との期待の声も多く聞かれました。



▲ 生産者がPR

新しい能登大納言小豆スイーツ誕生！ JAのと×ファミリーマート×JA全農

石川県産能登大納言小豆を使用した上品なスイーツが誕生しました。JA全農と株式会社ファミリーマートは、共同開発商品としてJAのと「能登大納言小豆」使用のスイーツ2商品を7月4日(金)より発売しました。

本取り組みは、石川県の復興支援「能登のために、石川のために 応援消費おながいプロジェクト」の一環として行われ、北陸・東海地方のファミリーマート約3,200店舗で約1か月間販売されています。

「能登大納言小豆」は県のブランド農産物「百万石の極み」の一つ。全国の「大納言小豆」の中でも特に粒が大きく、色の鮮やかさが特徴です。能登のおだやかな気候で風味豊かに育ち、その品質の高さから全国で需要がある品種です。

発売に先駆け、7月2日(水)に石川県庁を訪問し、馳浩知事に商品を紹介しました。知事は試食を行い、「能登大納言のつぶあんはプチプチとした食感で食べ応えがあり、クリームとの相性も良い」と高く評価されました。



～商品～

カステラサンド
(能登大納言
あずき&
ホイップ)



能登大納言
あずきと
加賀棒ほうじ茶
蜜入り団子

米穀課

大麦全量「1等」と格付 ～JA能美 令和7年産大麦・初検査～

7年産六条大麦ファイバースノウの刈取が5月26日(月)から開始され、6月13日(金)にJA能美西部ライスセンター横倉庫において、初検査が行われました。

作田組合長のご挨拶の後、農産物検査員による検査が行われ、形質や水分、重量を厳格に確認し、検査された16トン全量が1等と格付されました。



▲ 初検査の様子



今年産の大麦については、春先に気温の高い日が多かったことで、収穫量や品質は平年並みを維持でき、県下で約4,500トン程度の生産量を見込んでいます。

大麦は食物繊維が豊富で、糖質の吸収を抑え、血中コレステロール値の低下に効果があるとされています。夏の健康管理に、麦茶や麦ごはん等、石川県産の大麦をぜひご賞味ください。

米穀課

石川県産酒米「百万石乃白」研究会×酒蔵の交流会

7月3日(木)、石川県産酒造好適米「百万石乃白」(品種名:石川酒68号)の生産者と酒蔵との交流会が開かれました。この酒米は県が11年かけて開発した大吟醸向け品種で、原料に使用した日本酒はすっきりした味わいとフルーティな香りが特徴です。使用した日本酒の本格販売は今年で6年目を迎え、使用は26蔵まで拡大しています。

交流会では、6年産米による醸造結果や7年産米の生育状況の報告、意見交換を行いました。蔵からは「様々な情勢の中で百万石乃白の面積、量が増えていることを非常にありがたく思う。」「課題や情報を共有し、ブランド価値を高め、石川の百万石乃白をもっと広めていきたい。」といった声が聞かれ、生産者は「今は稲の体を作っている。良いお米を栽培するにはどうすればいいの



▲ 研究会 林会長

か、関係機関の協力を得て今後とも一丸となって努力したい。」と応えました。

その後の試飲会では「百万石乃白」を使った14蔵の酒を飲み比べ、参加者ら約60名が、共同醸造による味わいなども噛みしめながら、各銘柄の特徴を評価しました。

今後もこのような機会を通し産地と酒造業界の連携強化を図り、「百万石乃白」のさらなる品質収量の高位安定化と日本酒の需要拡大に努め、生産者の所得向上に繋げてまいります。



▲ 交流会の様子

園芸課

石川県産すいか（金沢すいか）初出荷！

6月8日(日)、石川県産すいかの初出荷が県内で行われました。石川県で最大の青果物品目である「すいか」の今年の出荷数量は、546,000ケース(8,740トン)を見込んでいます。今年は4月以降の好天や生産者による適切な栽培管理により、平年よりやや早い初出荷となりました。

翌日6月9日(月)には、「金沢すいか」の初せりにあわせて、「金沢すいか」および「金沢こだま西瓜」の合同市場出荷セレモニーと試食会が行われました。試食会には多くの関係者が参加し、甘くてシャリ感のある金沢すいかと金沢こだま西瓜の仕上がりを確認しました。

また、JA金沢市砂丘地集出荷場西瓜部会は、優れた栽培技術と品質管理が評価され、第54回「日本農業賞」の集団組織の部で大賞を受賞しました。

金沢すいかをはじめ、石川県産のすいかは7月中旬に最盛期を迎え、県内を始め、関東、関西、中京市場にも出荷ます。



▲ 市場セレモニー



大阪にて石川県産すいかトップセールス！



大阪中央卸市場にてトップセールス

7月3日(木)、石川県産すいかの出荷最盛期に合わせ、大阪市中央卸市場にてトップセールスが行われました。

今年は本県最大産地であるJA金沢市とJA全農いしかわの共催となり、JA金沢市南組合長、JA全農いしかわ中西県本部長より、日頃の感謝とより一層のご愛顧をお願いしました。

セレモニー後は市場関係者へすいかの試食を行い、「甘くてとてもおいしい」「食感がシャリッと夏にぴったり」と評価いただきました。

石川県産すいかは砂地と赤土育ちでみずみずしく、じゅわつと広がる甘みとシャリシャリ感が特長です。今後も石川県産すいかのPR及び販売強化によりファンの定着・拡大を図り、消費拡大に努めていきます。

園芸課

令和7年度 ルビーロマン生産者大会
～目標30,000房！～

6月24日(火)、令和7年度ルビーロマン生産者大会を開催しました。今年度の出荷販売目標を30,000房と設定し、天候に左右されない栽培管理の徹底と栽培技術の向上により、ブランドイメージにふさわしい高品質なルビーロマンの出荷に取り組むことを誓いました。

大会ではまず、荒川会長らによる挨拶が行われました。その後、本会から「生産販売方針・出荷体制」の説明、各市場関係者から「市場でのルビーロマンの評価」の報告、そして石川県農林総合研究センターから「生育状況と今後の栽培管理」に関する説明がありました。今年は大阪への出荷が15周年を迎えることから、大阪方面を中心にPRすることも申し合わせました。

最後に、生産者代表としてJA石川かほく竹田副会長が音頭を取り、「ガンパロー三唱」を行い、大会を締めくくりました。



▲ ガンパロー三唱する参加者



園芸課

金沢こだま西瓜初出荷！

金沢こだま西瓜が6月5日(木)に初出荷を迎えました。同日に目合わせ会が開催され、見た目や果肉の色づき、糖度を確かめました。今年は昼夜の気温差が大きく、その分甘く育っています。



▲ 金沢こだま西瓜を出荷する生産者

出荷は7月上旬にピークを迎え、7月下旬まで続きます。シーズンを通じて約75,000ケースの出荷量を見込んでいます。地元北陸を始め、6月末より京阪・中京・京浜市場にも出荷を行っています。

園芸課
米穀課

ツエーゲン金沢ホーム戦にて、ひやくまん穀×加賀太きゅうりPR！

6月1日(日)に行われたツエーゲン金沢 vs F C琉球のホーム戦にて、「ひやくまん穀」おにぎりの配布と「加賀太きゅうり」の試食販売を実施しました。配布開始前から多くのお客様が列を作り、心待ちにしてくださいました。「ひやくまん穀」おにぎりは5月1日より販売開始した新商品(鮭とろ・角切昆布・紀州南高粒梅・豚の角煮)をPRしました。



▲ ひやくまん穀おにぎり配布



おにぎりを受け取った方々からは、「ひやくまん穀は食べ応えがあって、おいしいね」「種類が多くて迷ってしまう、全部おいしそう」などの声を多数いただきました。多くの方に「ひやくまん穀」の魅力がPRすることができ、商品の認知度を高める貴重な機会となりました。「加賀太きゅうり」の試食販売も大変好評で、試食をした方々からは、「歯ごたえがたまらない」「味がしみておいしい」などの称賛の声をいただきました。販売では100本が完売し、沖縄から観戦に来た方にも「加賀太きゅうり」を知ってもらうことができました。開始前のステージでは生産者さんとのじゃんけん大会で「加賀太きゅうり」をプレゼントし、多くの方にPRすることができました。

Aガイヤでの販促イベントの実施



6月7日(土)、金沢駅西あんと2階のAガイヤにおいて、百万石まつりに合わせた「加賀太きゅうり」の販促イベントを実施しました。イベントには多くの方が訪れ、「加賀太きゅうりよく食べてます！」という地元の方々や、「あんかけ・浅漬け以外にも食べ方があるの？レシピ欲しい〜」と興味を持つ方々が多数いらっしゃいました。ブースでは、加賀太きゅうりの新しい食べ方やレシピを紹介し、参加者の関心を惹くことができました。このようなイベントを通じて、短時間ながらも大好評をいただき、加賀太きゅうりの魅力を直接伝えることができました。今後も積極的に旬に合わせた食材の販促活動を展開していく予定です。

金沢駅で大盛況！すいか交流フェア開催

J A金沢市と市農産物ブランド協会により、「すいか」の交流フェアが6月21日(土)に金沢駅コンコースで開催されました。イベントは多くの駅利用者で賑わい、試食会では市の農産物ブランドに認定されている「金沢すいか」と「金沢こだま西瓜」がふるまわれました。その甘くみずみずしい味は、大変好評で、糖度が高くシャリとした食感が特徴です。参加者からは「暑い日にすいかはぴったり」「シャリシャリの食感が最高」といった喜びの声が上がり、多くの人々が「金沢すいか」の魅力を堪能しました。



イベントでは、生産者によるPRや、すいかが当たるじゃんけん大会も実施され、子どもから大人まで楽しんでいました。この交流フェアを通じて、「金沢すいか」や「金沢こだま西瓜」の魅力を広くPRすることができました。

ツエーゲン金沢を応援!!!『金沢すいか』の試食会を実施

6月21日(土)ツエーゲン金沢 vs S C相模原のホーム戦にて『金沢すいか』の試食会を実施しました。各回開始約10分で配布終了するほどの人気ぶりで、来場者からは「甘い！美味しい！」との声が多く聞かれました。選手の方々にも「金沢すいか」を提供し、喜んでいただけました。しっかり水分補給して、暑い夏を乗り切ってください！



J A全農 COUNTDOWN JAPAN

TOKYO FM「J A全農 COUNTDOWN JAPAN」にて6月14日(土)に金沢すいかと金沢こだま西瓜をご紹介します。

パーソナリティの遠山大輔さんと潮紗理菜さんが魅力をたっぷり伝えて下さいました。産地から金沢すいか30玉、金沢こだま西瓜30玉ご提供があり、リスナーの皆様へ抽選でプレゼントしました。応募総数は2,375件と大変ご好評いただきました。



園芸課

地元石川が育んだ色白美人 「石川アールスメロン」

毎年、お中元をはじめとした贈答品としても人気の高い高級メロン、「石川アールスメロン」！

7月4日(金)からJA金沢市より、春作「石川アールスメロン」が出荷されました。5月以降は好天に恵まれたことで糖度も十分に上がり、品質良好なメロンに仕上がっています。

「石川アールスメロン」は、味よし、香りよし、見た目よしの3拍子揃ったブランド品！県内初出荷を迎えたJA金沢市では11戸の生産農家が約80.3a(前年比93.2%)作付しており、8月中旬までに約3,600ケース(約31ト)の出荷を見込んでいます。出荷期間中は地元市場(丸果石川中央青果(株))を中心に夏と秋の年2回出荷され、どちらのシーズンも引っ張りだこです。



▲「石川アールスメロン」を出荷する生産者

園芸
種苗C

園芸種苗センターが挑むトマト栽培実証 ～高温対策を重視して～

園芸種苗センターでは、トマト栽培農家の増収増益を目指し、新しい栽培技術を確認するため、実証栽培を実施しています。暑い時期でも安定したトマト栽培を実現したいと考えています。

このプロジェクトは、全国本部西日本営農資材事業部TAC・生産対策課の吉田征司課長の技術指導のもと、センター職員とパート作業員を含む4名のチームで運営されています。収量は10アール当たり30トンを目指しています。

夏場の高温対策として、日射比例式かん水装置を導入しました。この装置により、日射量に応じて最適な水分供給が可能となり、高温時でも植物のストレスを最小限に抑えることができます。また、この機械に適応した管理方法も確立し、効率的な栽培管理を実現していく予定です。今年度、収穫作業は6月下旬から始まっており、(株)ジャコム石川、およびJAグリーン金沢等へ出荷されています。



▲ 技術指導の様子

7月9日(水)には技術会議があり、生育確認と今後の栽培管理の方針の見直しが行われました。来期への課題も整理され、技術の向上が期待されています。

また、NTT東日本と共同で、遠隔地から技術指導が可能なシステムを開発中です。このシステムはまだ作成段階ですが、デモンストレーションと試験運用を通じて効率的な技術援が実現されることを期待しています。

今後も園芸種苗センターでは、高温環境下でも安定した収量と品質を確保できるトマト栽培技術の確立に向けて、実証と改善を重ねていきます。現場の知見と先進技術を融合させながら、生産者の皆さまの期待に応える栽培モデルの構築を目指して、挑戦を続けていきます。今後の成果にもどうぞ注目ください。

多様な仲間と 築く安全 未来の職場 ～株式会社JA建設エナジー 令和7年度安全大会～

(令和7年度全国安全週間スローガン)

(株)JA建設エナジーでは、「全国安全週間」を契機に安全第一の意義を再確認するため、6月13日(金)にバリテラスCoCo金沢において、全社員と72名の協力会社を招集し安全大会を開催しました。

今年度のスローガンより多様化する職場での安全を呼びかける社長の挨拶があり、安全パトロールの状況報告や労働災害防止に取り組む優良な会社を称える安全表彰、株式会社西村産業の浜塚部長による安全宣言が行われました。また本年度の記念講演は講師の田中咲百合先生をお招きし、労災を防ぐ職場づくりのための健康経営を学びました。

昨年度の安全パトロールの集計結果は、建築：9件、住宅：7件を実施し、それぞれ評価平均点は(建築)92.8点、(住宅)95.1点と住宅部門では前回の点数を大幅に上回る評価結果となりました。



▲健康指導のスペシャリストとして全国で活躍されている田中先生による記念講演

今後も作業員への指示徹底及び安全衛生協議会の定期的開催を図り、今年度は能登方面の震災関連工事が多く、通勤災害、墜落災害、重機災害を重点的に管理し防止していくとの総評となりました。

記念講演は『これからの時代に備える健康経営～労災を防ぐ職場づくり～』をテーマに、健康に必要な運動、栄養、メンタルについてのトークや実際に全員でストレッチやワークショップを行い、健康の大切さを皆で再認識しました。「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で

考え、戦略的に実践することで、従業員の健康改善や満足度、定着率を上げるだけでなく、会社の持続的な成長や企業の魅力向上にも大きな影響を与えるとのことで、改めて従業員の健康を見直すきっかけとなりました。

令和7年度では震災復興のための現場が多くあり、慣れない土地や環境での作業が増え、これまで起こりえなかった労災の危険も考えられます。改めて、社員・協力業者が一丸となって現場での自主的な安全衛生活動をより一層推進し、安全第一として地域社会に貢献する建設会社を目指していきます。



▲株式会社西村産業浜塚部長による安全宣言



JA ホーム | 新築住宅のご紹介

SNSで
情報配信中!



@ja_home_ishikawa



家族の思い出が残る平屋住宅

既存の住宅と納屋を解体し、平屋の住宅に建替えを行いました。解体する住宅から、お子様の成長を記録した思い出の柱をLDKの一角に移設しました。日々の生活で何気なく見ると当時の思い出が蘇ります。少しずつ背が伸び、すすくと成長された大切な記録。遊びに来たお孫様が柱で背比をする姿は、とても心が温まります。

— 住まいの特徴とこだわり —

- ・南に面した明るいLDK空間
- ・既存住宅から思い出の柱を移設
- ・高天井で開放感のあるリビング
- ・落ち着いた色でまとめた内装
- ・回遊できる使いやすい間取り
- ・来客時にも便利な畳コーナー

新築・リフォームのご相談はJAホームまで
(株)JA建設エナジー 住宅課 TEL 076-240-5441

「JAふれあい産直市・キララはくい」として新装オープン

県内でAコープを展開する(株)ジャコム石川が、初めてJA直売所の運営に参入しました。JAはくいの直売所を引き継ぎ、新たに「JAふれあい産直市・キララはくい」として6月12日(木)に新装オープンしました。新店舗はJAはくい本店の隣にあり、5月下旬に閉店した「JAグリーンはくい」を改装、売り場面積を1.2倍に拡充しました。JA職員の応募から選ばれた店名のキララはくいは、惣菜コーナーや水産コーナーを新設し、地元農畜産物の発信拠点を



▲ 店内の様子



目指します。

オープン当日には松本外司社長が「JAの直売所を引き継ぎ、初めての運営となる。応援と協力をお願いしたい」と挨拶。JAの山本好和組合長も「手を取り合って盛り上げる」と祝辞を送り、JA全農いしかわの中村理副本部長が乾杯の挨拶をしました。式典では、大野哲也店長の決意表明に続き、産直部会長の原さんら5人がテープカットを行い、多くの客で賑わいました。開店記念の店頭市は14日に予定されています。

ジャコム
石川

Skill-up、Scale-up、Smail-upキックオフ大会

(株)ジャコム石川では令和7年度社員研修会とSkill-up、Scale-up、Smail-upキックオフ大会が5月21日(水)に金沢国際ホテルで開催されました。約150名の社員が集まり、社員の一体感を高め、新たなステップに向かって一致団結する機会となりました。



永年勤続表彰から始まり、30年、20年と永年にわたり会社に貢献してくださった社員の皆様が表彰され、その努力と献身に対して感謝の意が表されました。

続いて、松本社長からの挨拶では、永年勤続表彰者を称えとともに、昨年の能登半島地震の影響にもかかわらず、社員一人ひとりの努力によって実績が積みあがったことに感謝の意を示しました。また、個々のレベル

アップが全体の成長につながり、お客様の喜びと従業員のやりがいに結びつくことを強調し、今後も一緒に良い会社を築いていきたいと呼びかけました。

吉田専務からの事業方針説明では、今後のビジョンや戦略について計画を報告し、参加者全員が新たな意識を持って業務に取り組む重要性を認識しました。

最後に、各部長から方針説明が行われ、部署ごとの具体的な取り組みや目標が共有されました。この大会を通じて、今後もさらに成長し、お客様に喜ばれる店舗であり続けるために、一丸となって取り組んでいきます。



▲永年勤続表彰

私のおすすめ! エーコープマーク品



安心と信頼の
くらしの良品

今回は「**熟成めか床**」をご紹介します。
あらかじめ乳酸菌で発酵させためか床です。
初めてでも簡単！野菜などの
素材を入れて漬けるだけ！チャック
付きでそのまま冷蔵庫で保存
できます。



「エーコープマーク品」ってなに？

JAグループのプライベートブランド商品です。国産農畜産物を優先的に利用し、国内製造・国内加工、環境へも配慮し、食品添加物の摂取低減を基本とした安全・安心な商品です。

こんにちは！ジャコム石川です。
いつもAコープや共同購入をご利用いただきありがとうございます。
たくさんの「エーコープマーク品」からおすすめ品をご紹介しますのでチェックしてみてくださいね。

野菜を漬けてめか床が水っぽくなってきたら、お茶パックに糸寒天を入れて漬けると美味しいです。具材は孫もサラダ感覚で食べられるよう、きゅうり、プチトマト、ズッキーニ、固ゆでとうもろこし、すいかの皮、お刺身こんにゃく、セロリ、パプリカなどなんでも漬けて楽しんでます♪



JA金沢市 女性部
喜多 孝子 様

米心
石川

期間限定商品

ひやくまん穀おにぎり

6月1日より期間限定新商品が発売となりました。
ぜひ皆さんのお気に入りを探してみてください！

ご紹介

ひやくまん穀おにぎり 豚ねぎ塩だれ

豚肉と白ねぎを能登塩をアクセントにしたまろやかでこくのある塩だれで炒めました。旨味のある塩味がやみつきになります！

ひやくまん穀おにぎり 福神漬けカレー

小松とまとケチャップを使用したピリッと辛い自家製カレールーにポリポリ食感がクセになる福神漬けをたっぷり入れました。甘酸っぱくさっぱりした福神漬けとピリ辛カレーが夏にぴったりです。

さらに、北陸発アイドルグループの「ほくりくアイドル部」が「ひやくまん穀おにぎりアンバサダー」に就任。SNS 上でメンバーによる「ひやくまん穀おにぎり」の魅力発信や、イベント会場でのおにぎり紹介などの販促活動を展開します。



能登牛
洗練された和の雰囲気漂う町屋をイメージした贅沢な空間。完全個室や半個室でゆつくりとブランド和牛「能登牛」の希少部位や、「ひやくまん穀」、「加賀野菜」が味わえる。

能登牛専門焼肉店
肉匠 **Jade** 金澤

tel.076-256-1129
金沢市此花町3-3 ライフビル B棟 2F
ランチ/11:00~14:00(LO13:30)
ディナー/17:00~22:00(LO21:30) @近隣有料P 不定休

予約・詳細はこちらから
公式 Instagram

スندupp 890円 | 能登牛特上ランチ 3,500円 | 肉盛り合わせ 4,490円~ ※写真は「強(600g)」9,990円

石川県産の恵みを共に味わう。

能登牛 × ひやくまん穀
JA 全農いしかわ直営店

「能登牛」を使用した、ここにしかないこだわりのお弁当。

ひやくまん穀



能登牛焼肉と2色そばろ弁当 1,680円

能登牛寿司 1,280円

上から、能登牛焼ききたて弁当 2,080円
能登牛焼ききたてサーロイン重 3,380円
能登牛焼ききたて「極み」弁当 2,580円

能登牛焼肉弁当店
ひやくまんぞく亭

tel.076-254-0129

金沢市木ノ新保町1-1
金沢百番街「あん」と内
8:30~20:00 @近隣有料P 不定休
詳細は公式Instagramから



※予告なく販売終了または価格改定する場合がございます。

私たち全農グループは、**生産者と消費者を安心して結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

発行所/全国農業協同組合連合会 石川県本部
管理部 開発広報課
〒920-0383 金沢市古府1丁目220番地
TEL (076) 240-5371 FAX (076) 240-5319
http://www.is.zennoh.or.jp